

平成 29 年 7 月 7 日

呉竹医療専門学校  
校長 細野 昇 殿

学校関係者評価委員会  
委員長 河原 保裕

## 学校関係者評価委員会報告

平成 29 年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

### 記

#### 1 学校関係者評価委員

- ① 河原 保裕 (公益社団法人埼玉県鍼灸師会会長)
- ② 長嶺 芳文 (公益社団法人埼玉県鍼灸マッサージ師会副会長)
- ③ 高橋 知則 (公益社団法人埼玉県柔道整復師会専務理事)
- ④ 刑部 正道 (在校生保護者)
- ⑤ 竹内 正 (埼玉県立松山高等学校教諭)
- ⑥ 福島 聡一郎 (同窓会組織呉竹会会長・第 2 期卒業生)

#### 2 学校関係者評価委員会の開催状況

第 1 回委員会 平成 29 年 7 月 1 日 (会場 呉竹医療専門学校 10 階 1001 教室)

#### 3 学校関係者委員会報告

別紙のとおり

以上

## I 重点目標について

次の重点目標は、達成計画や取組方法が具体的に示されており適切に設置されている。

- ① 予算明細書及び事業報告書の作成
- ② 学則改定に伴う諸規程の見直しと整備
- ③ 学生支援体制の強化

この目標を達成することにより、事業評価や改善目標を明確に定められるようになり、PDCAサイクルによる業務改善が確実に進むことを期待する。

## II 各評価項目について

### 1 教育理念・目的・育成人材像

教育理念、教育目標、育成人材像等が明文化され、教職員をはじめ学生、保護者及び関係者に周知を図る努力をしている。また、関連業界が求める知識・技術等については、育成人材像や教育方針に示されており、社会のニーズに適合していると考えられる。理念等については必要に応じて見直しを図ることや、中期的な計画について具体的な内容を示すことができるように努めることにより、学生、保護者及び学校関係者等の理解や協力を得られることを期待する。

### 2 学校運営

学校運営は、理念等に沿った運営方針に則り、事業計画を作成して行っている。理事会での決定事項は、段階的に伝えられ教職員全体に周知を図っている。

学生情報管理は適切に行われており、学生指導に役立てられている。ただし、情報管理業務において重複作業のあることが課題となっていることから、業務を見直して効率化を図っていただきたい。

人事・給与、昇任・人事考課の規程の見直し・整備については、継続課題としており、解決に向けた着実な取組に期待する。

### 3 教育活動

教育課程は教育課程編成委員会等の意見を反映させながら編成しており、成績評価基準、取得資格、指導体制等の体制は十分に整えられている。

授業評価については、学生へのアンケートに加え、授業参観による評価も行っている。課題としている評価内容については、今後も検討を進めていただきたい。

キャリア教育については、企業連携による授業やインターンシップを導入している。課題としている意義・指導方法等の成文化について、着実に実施していただきたい。

資格取得体制は充実している反面、選択授業及び特別講座は外部講師によって実施されるため、学生への開示を年度当初にできないものがあること課題としている。スケジュール等を早期に調整し、多くの学生が参加できるようにされることを期待する。

### 4 学修成果

就職を希望する学生の自覚を促し、自主的に就職活動を支援する工夫を行っているものの、目標の希望者 100%就職（4月1日時点）を達成できなかったことを課題としており、平成 29 年度の取組に期待する。

国家資格の取得状況は、高い水準を維持しているが、学生の質の変化に適した指導方法を展開される努力を続けられることを望む。

また、継続課題の卒業生の社会的評価の把握については、引き続き改善に向けた取組に期待する。

### 5 学生支援

中途退学者を低減させるため、努力されていることを確認した。学生相談の在り方などを見直しながら着実に中途退学者を低減させることを期待する。

学生に対する経済支援の充実、課外活動の支援について確認した。保護者との連携については、引き続き検討してよりよい体制を整えていただきたい。

産学連携による卒業生の再教育プログラムについては、関係団体に所属する教員が実施していることを確認した。共同開発等に関する取り決めがないことから、今後はこの課題に対応され、関係団体等との協力関係を深めて卒業生の支援の充実を図ることを期待する。

## 6 教育環境

施設・設備、学校行事等の教育環境は、充実している。ただし、図書室において風紀の乱れがあったことなどから管理方法等について検討されることを望む。

インターシップについては、受入先企業等との連絡協議体制の構築を引き続き課題とされており、改善への取組に期待する。

安全管理体制については、開校時間や教職員の配置を考慮した体制の見直しを課題としており、着実に実行されることを望む。

## 7 学生の募集と受入れ

学生募集活動、入学選考、学納金の設定及び入学辞退者の対応については適切に対応している。これらの情報は募集要項やホームページにおいて公開されている。

入学者の状況を把握し、入試内容を一部変更する対応も行われていることを確認した。今年度入学者が減少したことを受け、高等学校の教職員に対する説明会の検討や来校者の対応を充実させることなどにより、良好な状況を維持されることを望む。

## 8 財務

法人の財務状況は安定していることを確認した。また、内部統制を強化する取組が行われたことも確認した。

中期目標や単年度事業計画に関連した予算を配置すること、貴校単独の事業報告書の作成を課題としており、これらの取組を通じて引き続き良好な状況を維持されることを望む。

## 9 法令等の遵守

学校運営に必要な諸規程が整備されていることを確認した。諸規程について教職員への周知、電子記録の取扱や個人情報の管理について体制の強化を図ることを課題としており、今後の取組に期対する。

自己評価の内容について、学内に自己評価委員会を設置して課題への対応を行っていることを確認した。今後更なる充実を図ることを望む。

## 10 社会貢献・地域貢献

学校の教育資源の活用、社会問題への対応、国際交流、ボランティア活動等の課題については、規程を設置するなどの課題を上げている。国際交流については、法人全体での取組が必要となる事項もあるので、着実に改善を図れるように十分に検討されることを望む。

学生に対するボランティア活動を支援していることや実施状況を把握されていること等を確認した。学生のボランティア活動の評価についても検討を進めていただくことを望む。